

図書だより

2019年 1月号
三島高等学校 図書委員会

(担当 107HR 坂本竜清 曾我部蘭夢)



My Favorite Books

今回は 福本 温子 先生です！

=簡単な自己紹介をお願いします=

今治市で生まれ育ちました。高校時代に書道教員の道を志しましたが、将来を心配して進路変更を薦められることの方が多かったです。悩んだ末に自分の意地を貫いて書道コースのある大学に進学しました。今となつてはその意地も信念だったと胸を張って言えます。大学では4年間書道にどっぷり浸かりました。好きなことができる環境に身を置けたことは本当に幸せなことでした。ただ、もう少し食欲に学んでおけばよかったなと後悔することもあります。東温高校で3年間過ごし、今年度本校に転任して参りました。

=高校時代(大学時代)に感銘を受けた本を教えてください=

私は本当に読書が苦手で、まともに一冊読み終えたということがほとんどありませんでした。読むのは書道の本ばかりで、自分にとって必要なエッセンスだけを吸収できればいいと思っていました。そんな私の読書人生を変えた一冊は、大学時代に読んだ『容疑者Xの献身』でした。映画化もされて話題になった東野圭吾さんの推理小説です。巧みな情景・心情描写に引き込まれ、本の世界に没入し、気付けば眠気も忘れて一気に読み終えました。初めて『本に魅了される』という感覚を覚えた一冊です。

=みなさんに読んでほしい本を教えてください=

文章を書くのが苦手な私にとって教科書とも言える本があります。『読み上手 書き上手』(齋藤孝著、ちくまプリマー新書)と『思考の整理学』(外山滋比古著、ちくま文庫)です。特に、齋藤孝さんの本は非常に読みやすいので、読書が苦手だと感じている人はぜひ読んでみてください。『コミュニケーション力』もおすすめです。また、一番好きな本は夏川草介さんの『神様のカルテ』です。夏目漱石を愛して止まない古風な言葉遣いが癖になる主人公イイトと妻のハル、患者、同僚たちで展開する人間模様の小説です。人としてどう生きていくのか考えさせられる一方で、命や人間同士の関わり方の大切さを教えてくれる心温まる本です。読んだ後に優しい気持ちになれるのがこの本の魅力です。映画しか観たことがない人はぜひ本も読んでみてくださいね。

=三高生に一言！=

スマホが普及して、本も電子化されるようになりました。移動先で手軽に読書ができます。とても便利です。しかし、個人的には、自分の手で書き込みができる紙の本の魅力を大事にしてもらいたいと思います。様々なジャンルの本を読んでみて、自分の読書の入り口を探してみてくださいね。寝る前の30分をスマホでなく読書に変えるだけで、生活の質がうんと上がりますよ！



福本先生、ご協力ありがとうございました！！！！

新着図書

「1R1分34秒」 町屋 良平

第160回芥川賞受賞作品

なんでおまえはボクシングやってんの？青春小説の新鋭が放つ渾身の一撃。デビュー戦を初回KOで飾ってから三敗一分。当たったかもしれないパンチ、これをしておけば勝てたかもしれない練習。考えすぎてばかりいる21歳プロボクサーのぼくは自分の弱さに、その人生に厭きていた。長年のトレーナーにも見捨てられ、変わり者のウメキチとの練習の日々が、ぼくを、その心身を、世界を変えていく――。



「宝島」 真藤 順丈

第160回直木賞受賞作品

英雄を失った島に、新たな魂が立ち上がる。固い絆で結ばれた三人の幼馴染み、グスク、レイ、ヤマコ。生きるとは走ること、抗うこと、そして想い続けることだった。少年少女は警官になり、教師になり、テロリストになり―同じ夢に向かった。超弩級の才能が放つ、青春と革命の一大叙事詩!!



「本と鍵の季節」 米澤 穂信

堀川次郎は高校二年の図書委員。利用者のほとんどいない放課後の図書室で、同じく図書委員の松倉詩門と当番を務めている。背が高く顔もいい松倉は目立つ存在で、快活でよく笑う一方、ほどよく皮肉屋ないいやつだ。そんなある日、図書委員を引退した先輩女子が訪ねてきた。亡くなった祖父が遺した開かずの金庫、その鍵の番号を探り当ててほしいというのだが…。図書室に持ち込まれる謎に、男子高校生ふたりが挑む全六編。



「進撃の巨人 27巻」 諫山 創

巨人がすべてを支配する世界。巨人の餌と化した人類は、巨大な壁を築き、壁外への自由と引き換えに侵略を防いでいた。だが、名ばかりの平和は壁を越える大巨人の出現により崩れ、絶望の闘いが始まってしまふ。



マーレに潜入し、大打撃をもたらしたエレン。その目的はジークをエルディアへ連れ帰ることだった。王家の血を引くジークを迎え入れたことで、全世界に対抗する力「地鳴らし」の発動条件を手に入れたエレン達。だがそれは同時に、全面戦争へのカウントダウン開始の合図でもあった……………。

「絵本とマンダラで解く生命誌」 中村 桂子

生命の38億年を目で見て感じる3つの絵物語。たった一つの祖先から生まれた生物多様性、動く地球と進化大爆発・大絶滅、生きものの本質にせまるゲノムの科学…。生命の驚異を複数の視点で描き出す「生命誌絵巻」「新・生命誌絵巻」「生命誌マンダラ」の表現世界へ、提唱者が招待する。

